



社会福祉法人 恩賜財団 済生会
福岡県済生会福岡総合病院

呼吸器センター

Respiratory Center

- 呼吸器内科
- 呼吸器外科

2018

SAISEIKAI Fukuoka General Hospital



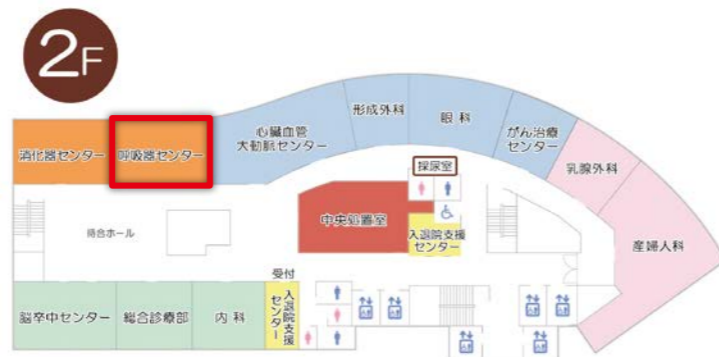
理念

地域社会の皆さまや先生方に信頼され、
真の満足をしていただける病院づくり

基本方針

- 良質で安全な医療を提供します
- 救急医療を充実します
- 高度専門医療を推進します
- 地域医療連携を積極的に進めます

呼吸器センターを 開設いたしました



2018年1月より、「患者さん、開業医の先生方にとってわかりやすい外来診療」を目的に、『呼吸器センター』を開設しました。「呼吸器疾患だが内科か外科か」と診断が確定していない状態では開業医の先生方も迷われることがあるかもしれません。センターでは、内科と外科の医師がチームで診療にあたります。患者さんにとって最適な治療を提供できる体制を強化していきます。

受診(初診)受付時間

平日 午前 8:30~11:30

診療日、診察受付時間は各診療科によって異なりますので、ご確認ください。
各診療科で設けております手術日は、休診となっております。

急患の方は随時対応いたします

2018年 休診日

土曜日・日曜日・祝日、国民の休日

年末年始(12月29日~1月3日 休診)

開院記念日(7月3日)

診療科目

- 内科 糖尿病・内分泌内科 腎臓内科 血液内科 腫瘍内科 感染症内科 心療内科
- 消化器センター 消化管内科 肝臓内科 膵・胆道内科 消化器外科 肝胆膵外科(一般外科)
- 呼吸器センター 呼吸器内科 呼吸器外科
- 心臓血管・大動脈センター 循環器内科 心臓血管外科 血管外科
- 脳卒中センター 脳神経内科 脳神経外科
- 救命救急センター 集中治療部 救急科
- 小児科 乳腺外科 整形外科 形成外科 産婦人科 眼科
- 耳鼻咽喉科 頭頸部外科 放射線科 麻酔科 病理診断科

その他診療

- がん治療センター 化学療法外来 緩和ケア外来 放射線治療室
- 総合診療部 内視鏡室 腎センター 健診センター

所在地 〒810-0001
福岡県福岡市中央区天神1丁目3番46号

連絡先 【代表電話】092-771-8151
【FAX】092-716-0185

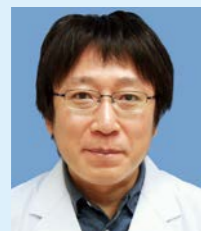
地域医療連携室 【電話】092-771-8151(代表)
【FAX】092-771-7604(直通)

ホームページ <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>





呼吸器内科主任部長
綿屋 洋



部長 古山 和人



医長 三雲 大功



医員 高畑 有里子



医員 秦 兼太郎

呼吸器内科では、肺がん、呼吸器感染症、COPD、喘息、気胸などの比較的多く認められる疾患群から間質性肺疾患などの稀少疾患までさまざまな疾患の診療に取り組んでいます。

● 診療体制 (外来)

2018年7月1日現在

月	火	水	木	金
綿屋	綿屋	綿屋	綿屋	古山

※ 診療体制は変更することがあります。最新の情報はホームページでご確認ください。

● 診療体制 (入院)

3人のスタッフ (綿屋、古山、三雲)、2人 (高畑、秦) + α のレジデントおよび研修医で診療を行っています。

レジデント、研修医はローテートする事があります。

● 診療対象の主な病態および対象疾患

腫瘍性疾患：肺がん、縦隔腫瘍、悪性胸膜中皮腫など

感染症：肺炎、誤嚥性肺炎、膿胸、肺化膿症、結核、非結核性抗酸菌症など

気道疾患：気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) など

間質性肺疾患：間質性肺炎全般、サルコイドーシスなど

その他：気胸、気道異物

● 当科での診療の特徴

当科では、急性疾患およびがん診療に力を入れています。また、専門性の高い間質性肺炎など稀少疾患の診療も行っています。一方で、安定している慢性疾患 (喘息、COPD、非結核性抗酸菌症など) の診療は、患者さんと相談の上、開業の先生方や近隣の病院にお願いすることが多いのが特徴です。

気管支鏡検査

ガイドラインに基づいた検査を心がけています。入院・外来どちらでも対応可能です。生検が必要な場合は、入院をおすすめしています。患者さんが希望される場合は鎮静して検査を行います。ミダゾラム、ジアゼパムを使用することが多いのですが、気管内挿管下に検査を行う場合は、プロポフォールを使用する場合もあります。通常検査に使用するファイバーが3本とコンベックス型の超音波内視鏡が1本あります。エコーが可能な部位は、リンパ節の生検も可能です。

肺がん診療

呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、病理診断科、がん治療サポートチーム (CST) など多科で協力し、連携をとりながら治療方針の決定を行っています。呼吸器内科では、化学療法、化学放射線療法、緩和医療を主に行っています。緩和ケアが主体になる場合は、近隣のホスピスや往診していただける先生と連携しながら、加療を行っています。化学療法は、なるべく外来にて行う方針としております。しかしながら、初回治療、合併症リスクが高い場合、患者希望などの際は、入院治療を行っております。

呼吸不全

重症肺炎、COPDの急性増悪、間質性肺炎の急性増悪などの集中治療が必要な急性期疾患にも力を入れております。当院は、循環器内科、救急科、腎臓内科もありますので、集中治療が行いやすい環境が整っています。

● 主な入院診療のご案内

【主なパス、疾患について】

疾患名・治療名	入院日数	治療内容
気管支鏡入院パス	2日	入院後、気管支鏡検査を行い、翌日退院

● 診療実績・治療成績

表 2017年入院疾患の内訳

疾患	その主たる内訳治療内容
腫瘍性疾患 233	肺がん 227
感染症 263	細菌性肺炎 123 誤嚥性肺炎 85 膿胸・胸膜炎 17 肺膿瘍 15
びまん性肺疾患 109	
閉塞性肺疾患 60	気管支喘息 36 COPD 22
その他 85	気胸 34 喀血 25
合計 750	

入院の大半を、感染性疾患と腫瘍で占めていますが、ほぼすべての分野の疾患に万遍なく対応可能です。

ただ、救急病院という当院の特性上、当科で診療が難しい疾患が下記のようにいくつかございます。

①睡眠時無呼吸の簡易検査は可能ですが、当科での治療は原則行っておりません。

②禁煙外来は行っておりません。

— お知らせ・お願い

病状が安定した患者さんは、かかりつけの先生をお持ちいただくようお願いしております。



呼吸器外科部長
米谷 卓郎

呼吸器外科ではさまざまな胸部疾患に対して他の診療科と密に連携して治療を行っています。肺がんをはじめとした胸部悪性腫瘍の手術から気胸などの良性疾患に対する手術など幅広く対応しています。患者さん個々の体力や希望に添いながらEBMに基づいて治療方針を決定しています。

● 診療体制（外来）

2018年7月1日現在

月	火	水	木	金
	米谷		米谷	

※ 診療体制は変更することがあります。最新の情報はホームページでご確認ください。

● 診療体制（入院）

呼吸器外科の患者さんは、手術前日に入院し、術後1週間以内に退院となる方がほとんどです。早期退院に向けて理学療法士が積極的に回復リハビリを行います。手術後の再発治療で化学療法を行う場合、多くが外来で行っていますが、患者さんの体力や副作用の程度によっては入院して行うこともあります。

● 診療対象の主な病態および対象疾患

原発性肺がん	52例
転移性肺腫瘍	20例
縦隔腫瘍	11例
気胸	37例
膿胸	6例
その他	11例

● 当科での診療の特徴

肺がんの標準手術である肺葉切除を、8cm程度の小開胸で胸腔鏡補助下に行っています。2018年より、完全鏡視下での肺葉切除も導入しています。創も小さく術後1週間以内で退院となります。患者さんの体力に応じて部分切除や区域切除などの縮小手術も行います。局所進行肺がんに対しては、化学放射線療法後に手術を行う場合もあります。肺がんだけでなく多臓器がんからの肺転移や胸腺腫などの縦隔腫瘍の切除も行っています。

気胸の手術も多く行っています。再発気胸はもちろんのこと、初回気胸でもCTで明らかなブラを認める場合は、患者さんと相談の上、積極的に胸腔鏡下ブラ切除術を行っています。側胸部に3カ所の創（10mm, 5mm, 5mm）で行います。術後1～2日目で退院となります。

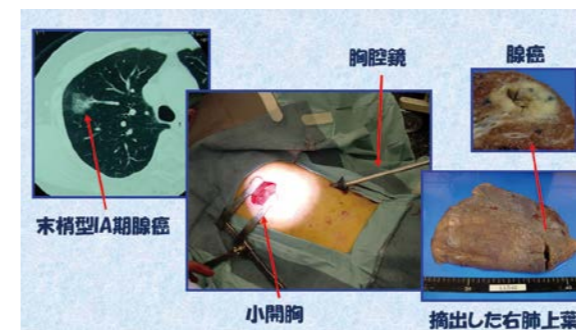
● 主な入院診療のご案内

【主なパス、疾患について】

疾患名・治療名	入院日数	治療内容
肺切除パス	8日	入院翌日に手術。1週間以内で退院可能。
縦隔腫瘍切除パス	8日	入院翌日に手術。1週間以内で退院可能。
気胸手術パス	2～3日	術後1～2日目で退院可能。

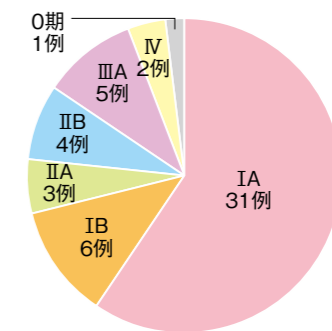
● 治療例・診療実績

図1 肺がんに対する胸腔鏡補助下肺葉切除



肺がんの標準手術である肺葉切除の典型例です。以前は25cmの創で大開胸下に手術が行われてきました。当科では胸腔鏡を併用して8cm程度の小開胸下に行っています。2018年より完全鏡視下での肺葉切除も導入しています。創も小さくて痛みも軽度であり、術後の回復も早くなっています。

図2 2017年における肺がん切除症例の病理病期内訳



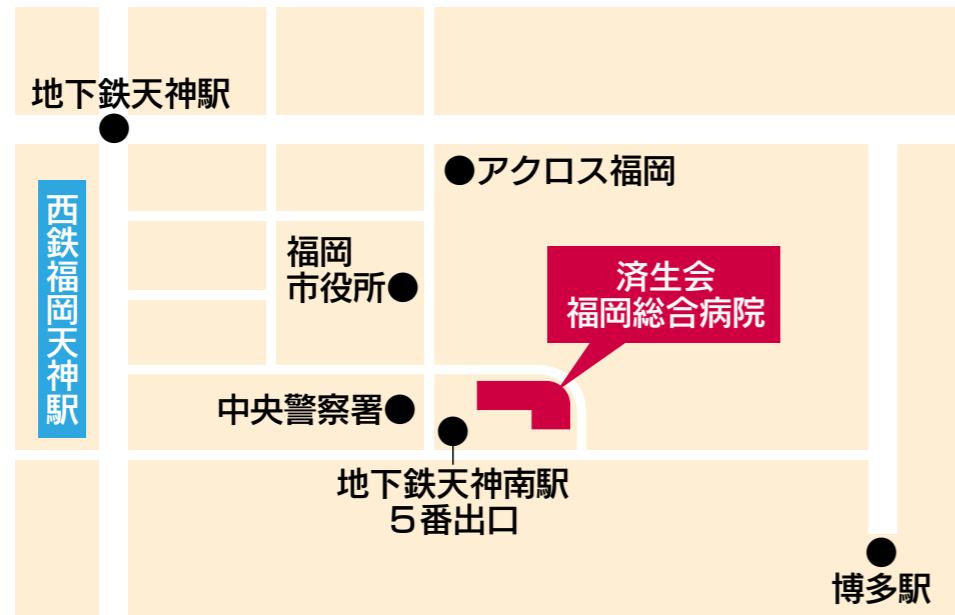
2017年に当科で手術を施行した非小細胞肺がん52例の病理病期の内訳です。CT検診等により早期発見が増えており、手術して根治する可能性の高い0～IA期が6割を占めています。腫瘍径が2cmを超えるIA期以上の症例に対しては、術後補助化学療法を行うことで生存率の向上を目指しています。

＝ お知らせ・お願い

当院ではがん診療に力を入れています。胸部X線単純写真の検診で何か気にかかる点がございましたらご紹介いただけたら幸いです。気胸につきましても可能な限り、迅速に手術も行える体制をとっていますので、お気軽にご連絡いただけたらと思います。



〈交通のご案内〉



- 地下鉄空港線天神駅から 徒歩5分
- 地下鉄七隈線天神南駅5番出口から 徒歩1分
- 西鉄福岡天神駅から 徒歩5分
- JR博多駅から 地下鉄で天神駅まで6分、車で10分
- 福岡空港から 地下鉄で天神駅まで11分、車で20分

駐車場について

◆車高制限について

当院の駐車場は立体駐車場ですので、車高に制限があります
(高さ150cm、長さ495cm、幅175cmまで)

◆利用時間について

- 利用時間: 8:00~20:00
- 20:00~翌朝8:00までは係員がおりませんので、出庫および宿泊駐車はできません。

◆駐車料金について

- 一般料金 最初の1時間(400円)
以降30分毎(200円)
- 割引料金 3時間迄一般料金の半額
以降30分毎(200円)
(当日診療の方のみ)

◆割引料金の対象について

- 当日受診の方は、計算時または会計時に駐車券に認印をもらってください。
(土・日・祝日および時間外の割引対象印は、時間外受付をお願いします)
- ご入院時・ご退院時についても同様にさせていただきます。
- お見舞い、付き添い・手術、病棟での待機については、駐車場のスペースおよび管理・経費上、割引対象にはしておりませんのでご了承ください。

◆料金精算について

- 割引対象の駐車券(認印の捺印がある駐車券)をお持ちの方は、精算する前に必ず割引処理を受けてから、精算機に入れてください。
- 当駐車場の精算機は、硬貨と千円札のみ使用できます。

発行 社会福祉法人 恩賜財団 済生会 福岡県済生会福岡総合病院
〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目3番46号
【代表電話】092-771-8151 【FAX】092-716-0185
<https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>

発行者 松浦 弘

発行日 2018年7月



呼吸器センター

Respiratory Center

- 呼吸器内科
- 呼吸器外科

2018

SAISEIKAI Fukuoka General Hospital

